

境界確認申請書及び境界確認書 作成要領

＊「市道」と「里道及び水路」は別々の申請として下さい。

正・副 2部作成して下さい。

疑義がある場合等は建設課道路管理係にご相談下さい。

境界確認申請書（製本順及び必要事項）

1. 鑑（様式1号）
2. 土地所有者等調書（様式2号）
 - ・境界確認に係る土地について、申請地、隣接地、対側地及び関係者（自治会、水利組合等）に分けて、それぞれの土地の所在、地番、地目、公簿面積、所有者の住所及び氏名を記載して下さい。
3. 委任状（様式3号）
 - ・代理人を定める場合は、委任する権限の範囲を明確に記載した土地所有者からの委任状を添付して下さい。
 - ・正には原本を添付して下さい。
 - ・境界確認書提出時に押印済の委任状と差し替えてもよい。
4. 位置図
 - ・縮尺は1/50,000以上で作成して下さい。
 - ・「位置図」と表記して下さい。
 - ・方位を記入して下さい。
 - ・申請地を朱書きで図示して下さい。
5. 見取図
 - ・縮尺は1/1,500程度で作成して下さい。
 - ・「見取図」と表記して下さい。
 - ・方位を記入して下さい。
 - ・申請地を朱書きで図示して下さい。
6. 字図1（法務局備付け地図（公図）の写しで、法務局発行の紙（緑色）又は法務局のホームページからダウンロードしたデータを印刷した字図）
 - ・法務局備付けの地図を謄写し、公図に着色してある場合はそのとおりに着色して下さい。
 - ・境界確認を必要とする地番に「申請地」と朱書きして下さい。
 - ・境界確認を必要とする地番との官民境界を朱線引きして下さい。
 - ・申請日より3か月以内のものを添付して下さい。

＊ダウンロードしたデータを印刷した字図の場合は、上記に加えて

 - ・調査年月日及び調査者の会社名及び氏名を記入し押印して下さい。
 - ・法務局名を記入して下さい。

7. 字図2（加筆等加工した公図の写し）

- ・「字図」と表記して下さい。
- ・方位を記入して下さい。
- ・縮尺を記入して下さい。
- ・町名、大字名及び字名を記入して下さい。
- ・大字界があれば大字界を、字界があれば字界を記入して下さい。
- ・申請地、隣接地及び対側地に、地目、地積及び土地所有者名を記入して下さい。
- ・境界確認を必要とする地番に「申請地」と朱書きして下さい。
- ・申請地との官民境界を朱線引きして下さい。
- ・公共物（市道は黄系色、里道は茶系色、水路（河川法による河川等含む）は青系色、国県道は薄紫系色）は着色し凡例を記入して下さい。
- ・作成年月日及び作成者の会社名及び氏名を記入し押印して下さい。
- ・法務局名を記入して下さい。

8. 土地全部事項証明書

- ・正には原本を添付して下さい。 写しを添付する場合は、原本照合が必要ですので原本を持参して下さい。
- ・境界確認を必要とする全ての地番（申請地）のものを添付して下さい。（隣接地及び対側地については不要です）
- ・申請地の土地所有者が死亡している場合は、遺産分割協議書の写し（原本照合が必要ですので原本を持参して下さい）又は相続関係説明図（作成年月日及び作成者氏名を記入し押印すること）を添付して下さい。
- ・申請地の土地所有者が法人の場合は、代表者事項証明書を添付して下さい。
- ・土地全部事項証明書に記載されている所有者の住所又は氏名（旧姓等）と申請者の現住所又は氏名が異なるときは、公的証明書で住所移転等の経緯が判明できる資料（戸籍の附票、戸籍抄本、履歴事項全部証明書（法人の場合）等）を添付して下さい。
- ・発行日から3か月以内のものを添付して下さい。

9. 現況写真

- ・申請地と周辺の状況が分かる写真を添付して下さい。

10. 参考資料

- ・申請地付近で地積測量図、国土調査法に基づく地籍図、土地改良法による所在図等があれば添付して下さい。

境界確認書（製本順及び必要事項）

1. 鑑（様式4号）

- ・土地の所在の「申請地」は、市道、里道及び水路に接している境界確認を必要とする全ての地番を記載して下さい。（隣接地及び対側地は含みません）
- ・申請地の筆数が多い場合は、〇〇番〇 外〇筆とし別紙「境界確認土地一覧表」（様式5号）を添付して下さい。
- ・土地の所在の「申請地に隣接する市有地」は、境界確認が必要な市道、里道及び水路について記入して下さい。無番地の場合は、市道、里道及び水路に接する地番の地先〇〇と記載して下さい。市道、里道及び水路が何系統かある場合は、系統毎に記載して下さい。

例： 〇〇番〇 市道（市道〇〇線）

△△番△ 地先 里道

□□番□ 地先 水路、××番× 地先 水路

2. 委任状（様式3号）

- ・境界確認申請書に添付している委任状に境界確認書に関する委任事項も含まれている場合は、その委任状を添付して下さい。
- ・**正**には原本を添付して下さい。

3. 位置図

- ・境界確認申請書に添付している位置図を添付して下さい。

4. 見取図

- ・境界確認申請書に添付している見取図を添付して下さい。

5. 境界確認立会書（様式6号）

- ・**正**には原本を添付して下さい。
- ・立会者が署名押印して下さい。
- ・申請地、隣接地、対側地及び関係者に分けて作成して下さい。
- ・市道の場合は、隣接地の同意も必要です。
- ・里道の場合は、隣接地、対側地及び必要に応じ自治会の同意も必要です。
- ・水路の場合は、隣接地、対側地及び水利組合等がある場合はその同意も必要です。
- ・申請地で、土地所有者とは異なる親族が立ち会う場合は、公的証明書でその関係が分かる資料（戸籍謄本等）又は委任状を添付して下さい。
- ・隣接地及び対側地で、土地所有者とは異なる親族が立ち会う場合は、その関係を記入して下さい。
- ・申請地、隣接地及び対側地で土地所有者に代わり第三者が立ち会う場合は、委任状を添付して下さい。

- ・申請地の土地所有者が死亡している場合は、遺産分割協議書の写し（原本照合が必要ですので原本を持参して下さい）又は相続関係説明図（作成年月日及び作成者氏名を記入し押印すること）を添付して下さい。
- ・申請地の土地所有者が法人の場合は、代表者事項証明書を添付の上、代表者又は代表者から委任を受けた者（委任状を添付）が立会いし押印して下さい。
- ・土地全部事項証明書に記載されている所有者の住所又は氏名（旧姓等）と立会人の現住所又は氏名が異なるときは、公的証明書で住所移転等の経緯が判明できる資料（戸籍の附票、戸籍抄本、履歴事項全部証明書（法人の場合）等）を添付して下さい。

6. 字図（字図1及び字図2）

- ・境界確認申請書に添付している字図から変更がない場合は、その字図を添付して下さい。
- ・申請地を追加する等申請時から変更があった場合は、新たに作成した字図を添付して下さい。

7. 実測平面図

- ・「実測平面図」と表記して下さい。
- ・方位を記入して下さい。
- ・縮尺を記入して下さい。（1/250を標準とする）
- ・町名、大字名及び字名を記入して下さい。
- ・大字界があれば大字界を、字界があれば字界を記入して下さい。
- ・申請地、隣接地及び対側地の地番を記入して下さい。
- ・申請地に「申請地」と朱書きして下さい。
- ・申請地との境界は「官民境界線」とし朱線引きして下さい。
- ・里道及び水路の場合、対側地との境界は「対側同意線」とし青線引きして下さい。
- ・公共物（市道は黄系色、里道は茶系色、水路（河川法による河川等含む）は青系色、国県道は薄紫色）は着色し凡例を記入して下さい。
- ・申請地（里道及び水路の場合は対側地も含む）の測点の名称（記号）及び境界標の種類を記入して下さい。
- ・申請地（里道及び水路の場合は対側地も含む）の測点及び引照点の座標値一覧（測地系を記載）並びに測点間距離（公共事業や工事等で現況が変わる場合は不要）を記入して下さい。
- ・作成者の会社住所、会社名、電話番号、測量者の資格、氏名及び実測年月日を記入し押印して下さい。
- ・横断面の位置及び番号を記入して下さい。
- ・写真の撮影位置と方向を記入して下さい。

8. 横断面図

- ・横断面の番号を記入して下さい。
- ・縮尺を記入して下さい。（1/100 を標準とする）
- ・現況地番や公共物（市道、里道、水路等）の名称を記入し、申請地は「申請地」と朱書きして下さい。
- ・申請地との境界は「官民境界線」とし朱線引きして下さい。
- ・里道及び水路の場合、対側地との境界は「対側同意線」とし青線引きして下さい。
- ・里道及び水路の場合、幅員を記入して下さい。
- ・測点の名称（記号）及び境界標の種類を記入して下さい。
- ・作成者の会社住所、会社名、電話番号、作成者の資格、氏名及び作成年月日を記入し押印して下さい。

9. 横断面写真

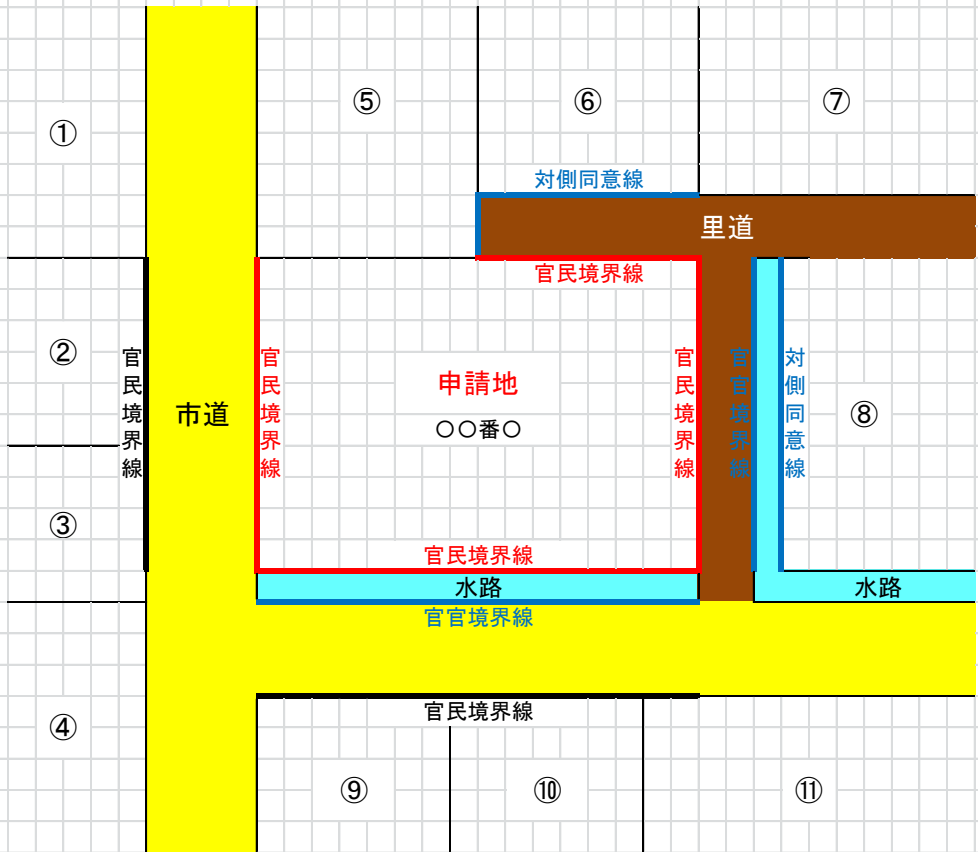
- ・横断面の番号を記入して下さい。
- ・現況地番や公共物（市道、里道、水路等）の名称を記入し、申請地は「申請地」と朱書きして下さい。
- ・申請地との境界は「官民境界線」とし朱線引きして下さい。
- ・里道及び水路の場合、対側地との境界は「対側同意線」とし青線引きして下さい。
- ・引照点の近景及び遠景を添付して下さい。

10. 境界確認申請書

- ・境界確認書に添付したものを除いた全ての書類。
（境界確認申請書（鑑）、土地所有者等調書、土地全部事項証明書、現況写真、参考資料等）

対側地等の立会要否について

(例)



	地番	要否
申請地	〇〇番〇	○
隣接地	⑤	○
対側地	①	×
	②	×
	③	×
	④	×
	⑥	○

	地番	要否
対側地	⑦	○
	⑧	○
	⑨	×
	⑩	×
関係者	自治会	○
	水利組合等	○

(里道は、原則必要)

(水利組合等がある場合は必要)